

No.1902

| | | | | | | |
|------------|-------|---------------------|------------|-----------|----------------|-------|
| 2月16日例会 | プログラム | 「玉野市の社会福祉について」 | 玉野市社会福祉協議会 | 会長 | 小林 通宣様 | |
| 2月23日例会 | プログラム | 「姓の話」 | 三宅 一昌君 | | | |
| 2月16日のメニュー | | ・シーフードピラフ&トマトスパゲッティ | ・白身魚ソテー | ・キャベツのスープ | ・野菜でつくる変わりデザート | ・コーヒー |

前回(2月9日)例会記録

| | | | | | | | | | | |
|------|-------|--|------|-----|------|-----|-----|--------|-------|--------|
| 出席報告 | 会員総数 | 38名(内出席規定適用免除者2名) | 出席者数 | 26名 | 欠席者数 | 10名 | 出席率 | 72.22% | 前回補正率 | 72.22% |
| | 前回補正者 | 藤田君 宮原君 | | | | | | | | |
| | 欠席者 | 藤田君 藤原君 花岡君 井上君 松玉君 中山君 大久保君 谷口君 山田(孝)君 山田(次)君 | | | | | | | | |

来訪者 高島 昭嘉様(エコライフ玉野 副会長)、随行者 多田羅 丈嗣様

会長挨拶

こんにちは。まず始めにお客様の紹介を致します。NPO法人エコライフ玉野副会長 高島 昭嘉様と随行者の多田羅 丈嗣様です。ようこそいらっしゃいました。ガバナー月信の1月号を見ていましたところ、出席報告のページの中で岡山RCの増員数が11月末で11名の増員、第2690地区で一番の増員です。岡山南RCは6名の増員です。玉野RCはプラスマイナスゼロで、下期皆様の協力により2名の増員をお願いしなければなりません。ご協力をよろしくお願い致します。以上簡単ですが会長挨拶と致します。お食事をどうぞ。

会長報告

- ・ガバナー事務所より協力依頼が来ております拉致被害者家族支援義援金について、ただ今より募金箱を回しますので会員一人当たり100円程度の募金をお願い致します。

幹事報告

- ・岡山南ロータリークラブより創立50周年記念式典の案内が榎田会長、三宅幹事に届いております。
4月1日(日)岡山国際ホテルにて。
- ・ロータリーの友事務所より2007-8年度版ロータリー手帳の購入案内が届いております。
- ・森下ガバナーエレクトより松尾次期会長宛にサンディエゴから国際協議会出席報告と2007~'08年度のRIテーマに関する葉書が届いております。2007~'08年度RI会長テーマ“ROTARY SHARES ロータリーは分かちあいの心”
- ・榎熊平製作所より抜粋のつづり、その66が届いております。'
- ・他クラブの週報・例会変更通知は回覧致します。

スマイル・ボックス

- ・三宅(保)君 - 高島様、多田羅様よくお出で下さいました。心より歓迎いたします。宮原社長様、お世話になりました。
- ・岸本君 - 高島君ようこそ。ロータリーに入りませんか。 ・小野君 - 高島さん、ようこそ。
- ・富永君 - 多田羅さん、ようこそいらっしゃいました。 ・島田君 - 高島様、多田羅様、ようこそ。
- ・白石君 - 高島さん、本日はありがとうございます。 ・緋田君 - 高島さん、ようこそ。
- ・林君 - 高島さん、ようこそ。 誕生月。
- ・羽賀君 - 倉庫市ご協力ありがとうございました。おかげ様で全店で3位の売上達成。感謝！感謝！
- ・仲田君 - 結婚記念。 ・東川君 - 前回欠席。

プログラム 「竹炭による溜池の水質浄化について」

エコライフ玉野 副会長 高島 昭嘉様

<エコライフ玉野>

岡山備前県民局・協働事業

「環境保全対策と地域活性化の推進

- 竹炭を使ったため池・農業用水浄化法の効果調査・環境学習 - 」



「エコライフ玉野」

- (1) 発足の経緯(「菜の花プロジェクト・ネットワーク」を継承して、H18.4 発足)
- (2) 組織の目的・機構(参照「規約」「活動方針」)
- (3) 組織の主な構成員(会員 45 名、賛助会員「玉野 JC」「ナイカイ塩業」等 7 団体)

「協働事業」決定の経緯

- 18/4 備前県民局へ書類提出(団体の概要書、事業計画書、収支予算書、規約・役員 & 会員名簿、H17 年度事業報告書他)
- 18/6 一次審査通過(申請 21 件中 6 件通過、「機械窯ではなく手作りの窯で」という付帯条件がつく)
- 18/6 二次審査(公開プレゼンテーション)(予算総額 844,400 円に減額)
- 18/7 三次選考(最終選考)・審査通過、「役割分担書」「協働事業協定書」交換
- 18/9 「アドバイザー委員会」へ「進捗状況」報告(協働事業の模範として賞賛)
- 19/2 県民局で「プレ・トーキング」(経過と今後の進め方)(予定)
- 19/3 「事業報告書」「収支決算書」提出(予定)

「協働事業」の概要

- (1) 深刻な蛭池の現状の改善(cf.山田・品の作地区のため池、品の作の全住民(42 戸、約 150 人)のほぼ全ての生活雑排水が流入、蛭池の水は全量農業用水として利用、住民の長年の努力、水質の推移)
- (2) 家庭排水の蛭池流入口に竹炭 30kg 敷設(生活雑排水量 $150 \times 200 = 30,000$ ㍓、水質浄化に必要な竹炭の量は、 1 ㍓/日・1g 以下)
- (3) 蛭池内に竹炭浮島設置(蛭池の貯水量 24,100 立方メートル)
- (4) 各家庭の廃食用油回収、石鹸製造・各家庭へ配布
- (5) 備前県民局、玉野市、地域住民・企業・諸組織との協働事業の推進

これまでの主たる活動

- (1) サンプル調査で竹炭の効果を確認(7/13 蛭池の水 1 ㍓に竹炭 1g 入れて 12 日後の水質変化 20 ㍓ppm。当初の予想通り家庭雑排水 1 ㍓に我々の焼いた竹炭 1g 入れて十分に浄化可能だと判明)
- (2) 数年前に住民が作っていた旧窯で、7/14 から約 100kg の竹炭を生産して蛭池流入口と蛭池に敷設
- (3) 8/7 旧窯撤去してステンレス・ドラム缶 2 缶で炉を移動式にした新窯に着手
- (4) 8/28 新窯「Bam-Koh-Siro 窯」火入れ式(萩原衆議院議員、黒田市長、藤原市議会議長、備前県民局次長・課長を含む 52 名参加)
- (5) 新窯で 1/20 までに 19 回窯入れ・窯出しを行い約 431kg の竹炭を生産。旧窯とあわせて約 506kg の竹炭を生産し、蛭池内に 7 基の浮島(336kg)を設置。約 3,000kg の竹を伐採。1/25 に 3 基の浮島追加(計 10 基、480kg)
- (6) 11/6 煙突出口に温度計を設置して理想的な温度推移に近い焼き方が可能になるとともに、竹酢液の生産(約 9 ㍓/回)が可能となる。
- (7) 12/15 農水省・大臣官房企画官(課長補佐・事務官)と中四国農政局企画官(2 名)来訪・活動概要説明。
- (8) 1/27 玉野 JC、品の作・上山田住民と大規模竹伐採・竹割り。
- (9) 1 月末に蛭池浮島周辺に簡易曝気装置を設置。

成果と今後の課題・目標

- (1) 協働事業の画期的前進(備前県民局 - 資金援助 / 四万十川方式につき高知県への問合せ / 竹炭測定のため岡山県工業技術センター紹介等、ナイカイ塩業・関連各社 - 窯作成への設備・技術・労働力支援等、品の作自治会・上山田自治会 - 竹伐採・竹割り / 廃油回収等、玉野 JC - 竹伐採・竹割り等、玉野市役所 - 福井県小浜竹炭生産組合と真備町竹炭生産販売組合視察のためのバス・職員派遣 / 水質・竹酢液調査等、小浜竹炭生産組合 = 日本竹炭・竹酢液生産者協議会事務局 - 特に鳥羽曙会長による様々な情報提供と指導・援助、地域住民 - 浮島設置のためのポート・タル貸与、等々諸組織・個人の援助・協力)
- (2) 水質改善(家庭雑排水の蛭池流入口に設置している竹炭通過前と通過後 COD30 19ppm、竹炭浮島周辺 COD は 5ppm 減、池の水 1 ㍓に竹炭 1g 入れて 2 ヶ月後の陰イオン界面活性剤 0.12 0.06、竹酢液に浸した竹炭を入れて 1 ヶ月後 0.0003)
- (3) 竹炭の品質改善・増産(比表面積 $350\text{m}^2/\text{g}$ 、竹の微細な細孔構造保持)
- (4) 竹酢液(比重 1.016~1.024、pH2.3~2.5/cf. 認証基準 - 比重 1.005 以上、pH1.5~3.7)の認証(日本竹酢液全国協議会)をとり、道の駅「みやま」で販売する。回収装置を改良し、 10 ㍓/日への増産を目指す。
- (5) 蛭池内の竹炭浮島を増やし(当面 1,000kg 目標)、太陽光を使った曝気装置を設置して蛭池の水質の一層の改善(3 年後に農業用水基準 5.0 を目指す)を図る。
- (6) 備前県民局からの補助金継続と諸組織・諸個人からの資金援助増額を実現して、蛭池の水質改善という目標実現まで事業を継続するとともに、竹酢液販売等により自前で収入を確保しながら、本格的な土窯を設置できる体制を整備する。